



つばさ

多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和5年 9月 5日
つばさだより 第6号

「暑い」夏休みが終わりました。夏バテに注意しつつ、ゆっくり9月のスタート。

令和5年の夏休みは、記録的な「暑さ」が続いた夏でした。子供たちもたくさんの思い出に残る時間を過ごしたと思います。約ひと月間の休みの中、子供たちには見える部分、見えない部分の成長もあると思います。どのような夏休みだったか、思い出話を指導の中で共有し、整理しながら自分の成長についても確認していきたいと思います。

ただ、この暑い気候に加え、長い休みから学校の生活時間に回帰する日々のスタートです。生活リズム、日々の刺激や疲労等もたまる時期です。体調に気を付け、ゆっくりと体を学校の生活時間に合わせて後期に向けてのスタートを切ることができればと思います。

成長のかたちは人それぞれ。「柔軟」に受け止めて応援していければ。

生活課題や学習課題においては課題を自分で解決したり達成したりしていく方法やスピードは人それぞれです。その背景には誰にでも自分にとって得意とすることや苦手なことがあることは当然にあることです。また、個々に成長していくスピードも違うこともあると思います。「学校」という場をにこうしたことを前提に書くことと難しい部分もありますが、「何年生でこれくらいのことができるようになる。」「みんなでやることを一緒にやって学ぶ。」のような、ある程度の「枠」があって「勉強」をするのが「学校」です。しかし、こうしたある種の「枠」があることは、その「枠」から外れやすかったり、なかなか約束をまもれなかったりします。このようなことがある人は不安になったり自信をなくしてしまったりするかもしれません。また、周囲から応援している人からすると「どうしてこんなことが難しいのか」と焦ったり心配してしまったりする気持ちになることもあると思います。ただ、意識しておきたいのは最初にも書いたように人の成長には凸凹があるということです。何かがわかり、その人なりにできるようになるにはその人なりの時間があるということです。(〇年生でできなかった計算が〇年生でわかるようになったというような事例もあります。)これから後期の「学校生活」が始まっていきます。日々の教科学習や学校行事等(運動会・音楽発表会等々)、日々全力で生活している子供たち(大人たちも)にはうまくいくこともうまくいかないこともあると思います。そんな子供の「成長の凸凹」について大人は柔軟に受け止め(その子なりの成長のスピードややり方、考え方をより理解し支援していく。)、理解して応援していく姿勢を大切にしていければと思います。また、何かわからないことや心配なことがあるときには、つばさ教室までご相談ください。どんな応援や支援ができるか一緒に探していきましょう。

「キミは、いたほうがいいよ」

映画「クレヨンしんちゃん・THE MOVIE 超能力大決戦」の主題歌、サンボマスターの「Future is Yours」の歌詞に
~キミはいたほうがいいよ 未来は君のためにあるの Future is Yours~

という一節があります。某新聞の8月末の全面広告にも「夏休みの宿題が終わってなくても、やりたいことがみつからなくても、テストでいい点とれなくても」のメッセージと一緒にこの歌詞が掲載されていました。夏休み終わりの子供たちへの前向きな応援メッセージとしての広告が印象に残りました。また、休み明け以外の場面でも全ての生活、学校場面でこの言葉がたくさんの人に届くといいなと思いました。

お知らせ

・9月4日(月)より前期後半の指導が始まっています。後期に向け、よろしくお願ひします。連絡帳の確認をお願いします。

